

2023年3月2日
NPO法人となりのかいご

ヤングケアラーを生み出す人や環境の特性を調査した「高齢者介護に関わるヤングケアラー白書 ～団塊の世代が要介護状態になる前に～」を公開しました

ビジネスパーソンへの介護コンサルティングを通じ、家族による高齢者虐待の予防に取り組むNPO法人となりのかいご（神奈川県伊勢原市、代表理事：川内 潤）は、ヤングケアラーを生み出す人や環境の特性を調査した「高齢者介護に関わるヤングケアラー白書」を発表しました。

▼「高齢者介護に関わるヤングケアラー白書」～段階の世代が要介護状態になる前にダウンロードページ：<https://www.tonarino-kaigo.org/download/>

【高齢者介護に関わるヤングケアラー白書について】

2020年公開の「介護離職白書」で「介護を自分の手で行うことは親孝行になる」や「親・義親・配偶者が認知症になったら自分（家族）がそばにいるべきだ」という質問に「とてもそう思う」「そう思う」と答えた方は6割を超えていることがわかりました。他方で、事業を通じ高齢の親の介護に携わるビジネスパーソンが、自分の子供を無意識に介護の担い手「ヤングケアラー」にしている事例にも多く出会って参りました。当法人では、ヤングケアラーを生み出す人やその環境の特性の分析を重点課題とし、この度調査を実施することにいたしました。

【調査概要】

調査目的：子がヤングケアラーで有る/無いの比較により、ヤングケアラーを生み出す人や環境の特性を明らかにする

調査対象：現在実親の介護をしており、かつ子供がいる方

調査方法：インターネット調査（対象者数 400）

調査期間：2022年11月11日～同年11月25日

※本調査におけるヤングケアラーの定義：介護作業に関わっている18歳以下の方

【NPO法人となりのかいご代表理事 川内潤】

1980年生まれ。上智大学文学部社会福祉学科卒業。老人ホーム紹介事業、外資系コンサル会社、在宅・施設介護職員を経て、2008年に市民団体「となりのかいご」設立。2014年に「となりのかいご」をNPO法人化、代表理事に就任。著書『もし明日、親が倒れても仕事を辞めずにすむ方法（ポプラ社）』、共著『親不孝介護 距離を取るからうまくいく（日経BP）』

【法人概要】

法人名：NPO法人となりのかいご

代表理事：川内 潤

事業内容：介護支援コンサルティング事業、普及啓発事業

Webサイト：<https://www.tonarino-kaigo.org/>

Facebook：<https://www.facebook.com/kaigoforbussinesperson/>